



黒潮大蛇行期におけるクロマグロ漁

【八丈島におけるマグロ漁】

八丈島では曳縄と呼ばれる漁法でマグロ類を漁獲します。近年の八丈島において、この漁法で漁獲されるマグロ類は、キメジと呼ばれるキハダマグロが大部分を占めていました。しかし、2018 年以降、これまでほとんど漁獲されることがなかった、30kg 以上の大型のクロマグロの漁獲が好調です（写真 1）。ここ数年のクロマグロ漁の好調の要因を探るために、1980 年以降の八丈島におけるクロマグロの漁獲量を調べてみました。

【クロマグロの漁獲量】

1980 年以降の 30kg 以上のクロマグロの漁獲量を図 1 に示しました。グラフから年に 10 本以上のクロマグロが漁獲されているのは、1980 年から 1984 年にかけて、1987 年、1991 年、そして 2018 年から 2020 年にかけてでした。また、その中でも 2018 年は 59 本、2019 年は 45 本、そして 2020 年は 3 月までの集計ですでに 68 本と、1980 年以降で最も多くのクロマグロが漁獲されていることが分かりました。



写真 1 漁獲されたクロマグロ
(183kg)

【黒潮大蛇行の影響】

このように近年、クロマグロの漁獲が好調な要因として、前号でもお伝えした黒潮大蛇行が影響しているのではないかと考えています。黒潮大蛇行は記録が確かな 1965 年以降、表 1 に示した計 6 回起きていることが明らか

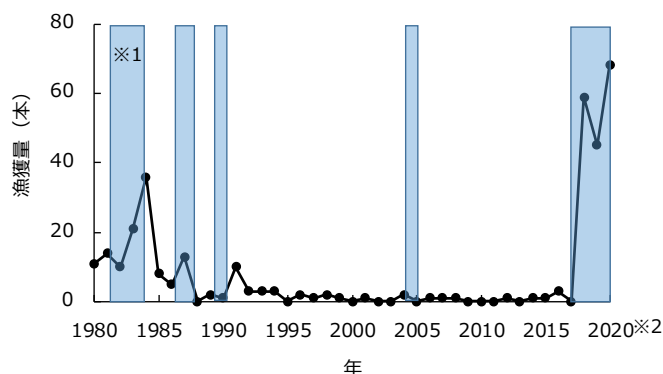


図 1 1980 年以降の八丈島における 30kg 以上のクロマグロの漁獲量

※1 水色の部分は黒潮大蛇行期間を示す

※2 2020 年は 3 月までの累計値

かとなっています。この黒潮大蛇行の年と上記のクロマグロが 10 本以上漁獲された年はおおむね一致しており、特に黒潮大蛇行が数年に亘って継続した年にクロマグロが多く漁獲される傾向が見て取れます。

【今後の見通し】

黒潮大蛇行は今後もしばらく継続する見通しです。前号でもお伝えしたように、黒潮大蛇行時の八丈島における漁模様は緩やかな潮流の影響で、キンメダイなどの底魚にとっては厳しい海況となります。一方、クロマグロについては好漁が期待できそうです。

表 1 黒潮大蛇行の発生年月と終了年月

発生	終了	継続期間
1975年8月	1980年3月	4年8ヶ月
1981年11月	1984年5月	2年7ヶ月
1986年12月	1988年7月	1年8ヶ月
1989年12月	1990年12月	1年1ヶ月
2004年7月	2005年8月	1年2ヶ月
2017年8月	継続中	